

## 北海道銀杏会 第30回講演会

日時 2018年2月1日(木) 18時30分～20時25分

場所 ホテルサンルート札幌3階 「宗谷」

講師 北海道大学法学研究科 教授 吉田 徹 様

本日は、北海道大学法学研究科の吉田教授を講師にお迎えし、「ポピュリズムの時代を考える」と題してご講演いただきました。

吉田教授は義務教育をヨーロッパで修了されました。北海道大学助教授時代には、パリ政治学院やニューヨーク大学で研究、現在はフランス国立社会科学高等研究院のリサーチアソシエイトやシノドス国際社会動向研究所の理事もなさっている、国際感覚豊かな先生です。また、子どもたちが安心して過ごし、楽しく食事ができる「西野こども食堂 k a o k a o」を主催されているそうです。

ご講演では、豊富でしっかりしたデータやファクトによって、ポピュリズムの本質を明らかにされました。また考察範囲も、世界的な普遍性を持ったものでありました。

満員のご参加を頂いた講演会でしたが、先生から示されたこのような時代において「さて私達はどうか生きるか」を考えさせられる意義深い会であったのではないかと思います。ご講演いただきました吉田教授と参加された会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

### 1. ポピュリズムの定義

- (1) ラテン語で人々を意味する「populus」が語源であり、民主主義とは切っても切り離せない。
- (2) 次の3つの特徴を有する「闘争用語」である。
  - A. エリートに対する道徳的非難
  - B. 同質的で一体的な人々の掲揚
  - C. カリスマ的でアウトサイダーなリーダーの介在

### 2. ポピュリズムの流れと実態

- (1) 歴史的には、19世紀末、1950年代、2000年代と大きな3つの波があった。産業構造や利益媒介構造が揺らぐ時代に生起している共通項を持つ。
- (2) 2010年代には、西欧各国でポピュリスト政党が得票率を13%に伸ばすほど存在感を増してきた。
- (3) ポピュリズムには右派も左派もある。いずれも経済のグローバル化には反対である一方、権威主義的なのが右派、リベラルなのが左派。
- (4) ポピュリズムは人々が代表されていないと感じるそのズレを調整する政治現象である。政治不信を回復するプラス面はあるが、民主主義を混乱にさらす危険性を持つ。

### 3. 現在のポピュリズム

- (1) 現在のポピュリズムは、工業中心の産業が変化していくなかで生起しており、「ポスト工業型ポピュリズム」と言える。
- (2) 「ポスト工業型ポピュリズム」は、政治経済文化的なエリートに対する不信と、リーマンショック後の緊縮策により生み出された。その背景には、戦後のリベラル・デモクラシーの支え手となっていた中間層の縮減がある。

(文責 渡辺知博)